

一般質問

6月22日、3日の本会議で、17名の議員が、市政全般について、一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

駅前バランス考え 再開発 駅前を三鷹の顔に



政新クラブ 白鳥 議員

議員 駅前広場の整備が進み、玉川上水との連続が図られれば、市の掲げる「緑と水の公園都市」により近づくのではと期待する。三鷹市バリアフリーのまちづくりの基本構想と三鷹駅前地区再開発基本計画（平成17年度改定）との整合性を図り、三鷹の顔である駅前の整備を行うべきだ。中でも、駐輪・駐車場の確保等、駅前周辺の交通動線の適正化は課題の一つである。市営の駐輪場の多くは借地で、今後の運営が心配だ。市所有の土地と借地の駐輪場の収容台数、全体に占める市所有分の割合を示せ。

市長 市所有分が約1千880台、借地分が約4千100台、合計で約6千台となる。市所有分は全体の約3割だ。

議員 土地の返却予定がある借地の駐輪場はあるか。

市長 現段階ではない。

議員 現在、登録制駐輪場の利用者は登録手数料を支払っている。市は、利用に見合った金額の負担を求める有料化を計画しているようだが、今後について聞く。

市長 利用料金を払ってもらうためには、市による用



三鷹センター（右奥）とその東側に広がるさくら通り駐輪場

震災 17万市民の 対策 生命を守れ



政新クラブ 伊藤 議員

議員 近年、日本各地で大きな地震の被害が発生しており、首都直下型地震の発生も迫り、首都圏でも被害が拡大している。災害に強い都市基盤の整備は、まちづくりの基礎となる重要な政策である。災害危険度の高い地域に対する重点施策の実施や地区計画制度の活用について、今後の取り組みを聞く。

市長 各地域の道路を整備するとともに、地区計画の活用を進めたい。

議員 ライフライン確保のためには、老朽化が心配される下水道の耐震化も重要な課題だ。対応策を示せ。

市長 耐震化を進める等、適切な耐震対策を行う。

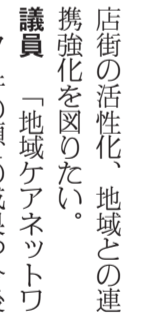
議員 学校における防災教育として、より実践的・具体的訓練が必要だ。中学生による応急救護等の活躍も期待される。訓練内容のさらなる充実を図れ。

重点施策を通じ コミュニティ育成を

政新クラブ 後藤 議員

議員 地域再生のキーワードはコミュニティだと言われている。これまで伝統的地域社会は弱体化してきた。人口の都市への集中と郊外化、交通・通信技術の発達による生活圏の拡大等の要因が考えられる。居住する地域社会に関心や関係

生涯学習 まちづくりを担う 施策 人材育成を



政新クラブ 六戸 議員

議員 住民同士の連帯感希薄化し、地域の活性化はより難しくなっている。「みたか生涯学習プラン2010」の実施に当たり、コミュニティ意識の醸成等、行政が明確な理念、達成すべき目標を示し施策に取り組みることが重要だ。①まちづくりを担う児童青少年の人材育成を重点課題とせよ②地域住民が、豊かな社会経験や学習活動で身に付けた力を発揮できる環境整備を進めるべきだ③家庭でのしつけ等を保護者が学習したり相談する機会を充実・強化に努めよ④地域での総合的な教育支援体制を構築した東京都の「地域教育プラットフォーム」事業を導入する考えはあるか見解を聞く。

教育長 ③家庭教育の大切

議員 商店街の活性化、地域との連携強化を図りたい。

議員 「地域ケアネットワーク・井の頭」の成果や今後の地域ケアの展開を伺う。

市長 アンケート調査や事例研究を行った。今後、地域懇談会の開催、先進事例の視察等を計画している。

議員 市民が主体的・継続的にコミュニティ活動にかかわれるように、人材バンクを作るべきだ。

市長 市民協働センターで人材バンク制度の導入を予定している。登録者が技能や経験を生かして活躍できるように支援していきたい。

議員 さの認識を深める取り組みを、さらに強化したい。

生涯学習担当部長 ①人材育成の仕組みづくりについて今後とも努めたい②学習資源の需要と供給のマッチング機能等を果たせるよう体制の充実を図りたい④実施について都と協議を進めている。

議員 生涯学習活動を総合的に支援する「ネットワーク型行政」の構築が求められる。行政、大学・研究機関、民間団体等と連携し、市民が学習資源を有効活用できる環境を整備せよ。

生涯学習担当部長 情報のネットワーク化と学習相談体制の充実を図りたい。

議員 社会教育行政における市民参加について聞く。

社会教育委員、公民館運営審議会委員等の委員構成には、偏りがあるとも指摘さ

活力あふれる 元気な三鷹を



政新クラブ 榎澤 議員

議員 市税収入の割合は、個人市民税・固定資産税が高く、法人市民税が低い。昭和60年度と平成15年度の比較では、市税収入の総額は1.38倍、歳出総額は1.69倍となっている。積極的な考え方プラス思考で元気な三鷹を目指すには、幅広く豊かな財源・市税収入を育てていく必要がある。税源確保と税収増に向けた施策について考えを聞く。

助役 駅前の持っている地域力も活用していくことが重要である。地域の既存の商店街とも連携しているような仕組みを作り上げていく中で、まちの活性化や、税収等のアップにつながっていくべきと考える。

議員 市の土地利用状況から考えると、製造業や卸小売業を拡大して法人市民税を増やすなど、商業を含めた中心市街地の活性化が必要である。駅前商店街を、

生涯学習担当部長 時代の課題に対応した委員構成になるよう今後も努めたい。

市長 地域の商業振興のイメージ・目標の共有や、あるいは取り組みの一体化など、今まで以上に、商業振興のネットワークづくりを強化していきたい。

議員 自然や文化財、公園、美術館などの観光資源を生かした施策を進めている自治体がある。単独・単発の観光事業を複合・広域事業にすると、観光客が増え、市内や商店街を回遊することによる波及効果があると考えている。所見を示せ。

市長 観光に関する事業に総合的・継続的に取り組む活性化を図っていきたい。

議員 昨年、市では、新選組に関する施策を行った。成果はどうだったのか。

市長 市の研究や展示は、その独自性が評価された。

市独自の 公的保証人制度の実現を

公明党 川原 議員

議員 高齢者の住宅問題には、深刻なものがある。三鷹市の高齢者の単身世帯の割合は、全国的に見ても、東京都内においても高い状況にある。本市の65歳以上

議員 高齢者のうち、単身世帯の割合は約15%、夫婦のみ世帯の割合は約39%で、合計すると市全体の高齢者世帯の約5割以上を占める。これらの高齢者は、新